

下水米管修第2号
機器修繕（米内沢処理区その1）

一 般 仕 様 書

第1章	総 則	P. 1
	1. 適用範囲		
	2. 一般事項		
	3. 納品図書		
	4. 検査		
	5. 材料保管		
	6. 保証期間		
第2章	更 新	P. 2
	1. 概要		

第1章 総 則

1. 適用範囲

本仕様書は、米内沢処理区に設置されている中継ポンプ場水位計の修繕に適用する。

2. 一般事項

- (1) 本仕様書に特に定めていない事項については、監督員との打ち合わせによるものとする。
- (2) 請負者は、修繕施工にあたり諸法規を遵守しなければならない。
 - 1) 労働基準法
 - 2) 労働安全衛生法
 - 3) 建設業法
 - 4) 公害対策基本法
 - 5) 水質汚濁防止法
 - 6) 大気汚染防止法
 - 7) 悪臭防止法
 - 8) 下水道法
 - 9) 電気事業法
 - 10) 道路交通法
 - 11) 騒音規制法
 - 12) その他関係法令、条例
- (3) 請負者は、修繕施工にあたり諸規格に準拠しなければならない。
 - 1) 日本産業規格 (JIS)
 - 2) 日本電機工業会標準規格 (JEM)
 - 3) 日本電気規格調査会標準規格 (JEC)
 - 4) その他関連の規格
- (4) 修繕施工に必要な関係官公庁、その他の者に対する諸手続きは、監督員の承諾を得て、請負者において迅速に処理するものとする。

3. 納品図書

- (1) 納品図書は、製作仕様書、外形図、構造図、及びその他必要な図面より成り、各3部（返却用1部を含む）提出するものとする。
- (2) 納品図書に訂正があれば、その部分を明示した訂正納品図書を、前記要領で再提出するものとする。

4. 検 査

製作等において、組立完成後に性能試験を行い、現地において総合試運転を実施し、正常な運転が行われていることを確認するものとする。

5. 材料保管

修繕の竣工まで、機器、材料の保管の責任は、請負者にあるものとする。

6. 保証期間

- (1) 機器の保証期間は、規定による引渡しを受けた日から1箇年とする。
- (2) 保証期間内に明らかに請負者の設計、製作、施工の不備に起因する故障が生じた場合は、請負者の責任において、直ちに修理または取替えをしなければならない。

第2章 更 新

1. 概要

- (1) 本修繕の施工にあたっては、監督員の指示に従い、本仕様書及び設計図書に基づき、関係法令、規定、基準に準拠し、責任をもって施工しなければならない。さらに作業の安全及び通行人等第三者への災害防止等についても十分に配慮し、安全対策を講じなければならない。
- (2) 機器の搬入、据付の際は、機器本体、構造物に対して損傷を与えることのないように注意すること。
- (3) 機器の据付の詳細については、施工図を提出のうえ、監督員の指示を受けること。